

# 学級分析シート

<b>Q-U・C&amp;S質問紙の結果</b> 分布図の傾向や観察などからとらえた学年の課題と目標			
		分布図	結果にみられる学級の様子 ① 教師から見たリーダー、課題のある子の位置 ② 行動をともにするグループとその位置関係 ③ 教師から見て、分布図の位置に違和感(ズレ)を感じる子 ④ 極端な位置にいる子
分布の状態			

# 解決策評価シート

取り組みにくい

取り組みやすい


効果大きい

効果小さい

学級活動指導案

1. 本時の指導と生徒の活動

① 本時の活動のテーマ

「上手な聴き方・自分の見方を変えよう」

② 本時のねらい

人の話しに注意深く耳を傾げることの大切さに気づき、自分の短所を長所に置きかえる考え方を学ぶ。

③ 本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	資料等	目指す生徒の姿と評価
活動の開始 3分	<p>○『後出しジャンケン』をする。</p> <p>①「あいこ」になるように生徒がだす。</p> <p>②「勝つ」ように生徒がだす。</p> <p>③「負け」になるように生徒がだす。</p>	<p>・指導者の「ポン」のかけ声に合わせて生徒が「ポン」と声を出してジャンケンをする。声を出すことでリラックスをさせる。</p>		
活動の展開 前半 20分	<p>○『傾聴の態度』について学び、体験する。</p> <p>【インストラクション】</p> <p>・「相手の話を聴くことは相手を認めることになる。見方を変えることは、自分に自信が持てることにつながる。」というめあてを聞く。</p> <p>【エクササイズ】</p> <p>①拒否のロールプレイのデモンストレーションを見る。30秒。</p> <p>②2人1組で話し手Aと聞き手Bを決める。Aは「テレビの話」をして、Bは否定的な態度で聞く。30秒。</p> <p>③AとBを交代する。30秒。</p> <p>④隣のペアと4人組になり、感想を出し合う。1分</p> <p>⑤いくつかのグループが発表する。</p> <p>⑥どんな聴き方がよい方法か考える。</p> <p>⑦次にAは、好きな食べ物の話をし、Bは受容な態度で聴</p>	<p>・話をするときの雰囲気によって楽しく感じたり、つまらなく感じたりすることがあるが、言葉そのものではなく、話の聞き手の態度や表情(姿勢や笑顔)が7割かかわっていることを知らせる。</p> <p>・指示カードは相手に見せない。</p> <p>・あくまでも役割演技ということを強調し、精神的な負担を感じないようにする。</p> <p>・指示カードは相手に見せない。</p> <p>・話を上手に聴くためのコツ、「アカメのウサちゃん」を示す。</p> <p>①あいづちを打つ 「へー」「そうなんだ」「いいね」</p>	<p>掲示物</p> <p>掲示物</p>	<p>【知識・理解】</p> <p>・上手に聴くためのコツが、相手の話しやすさ</p>

	<p>く。1分。</p> <p>⑧AとBを交代する。1分。 【シェアリング】</p> <p>⑨隣のペアと4人組になり、どんな感じがしたか、どんな気持ちになったかを1分間感想を出し合う。</p> <p>⑩いくつかのグループが発表する。</p>	<p>など声を出して答える。</p> <p>②体に向ける</p> <p>③目を見る</p> <p>④うなづく</p> <p>⑤最後まで話を聞く</p> <p>話している途中で、さえぎらない。</p>	<p>につながることを理解している。 (観察)</p>
<p>活動の後半25分</p>	<p>○『リフレーミング』をする。 【インストラクション】</p> <p>「自分の性格で欠点に目がいきがちで、悪いところにとらわれると、自信をなくします。しかし、見方を変えれば長所になるので体験してみよう。」というねらいを聞く。</p> <p>【エクササイズ】</p> <p>①先生を例に欠点をよいことに変えてみる。</p> <p>「がんこ」→「意志が強い」</p> <p>「しつこい」→「粘り強い」</p> <p>②ワークシートに日頃、短所だと思っている自分の性格を書く。3分</p> <p>③2人組をつくり、もう一つのペアと組んで4人組をつくる。ペア同士でワークシートを交換し、短所を長所に書き換える。7分</p> <p>④相手のペアにリフレーミングしたことを発表する。3分</p> <p>【シェアリング】</p> <p>⑤リフレーミングした結果を聞いて、感じたことをグループで話し合う。3分</p> <p>⑥ふりかえりシートに記入する。</p>	<p>・ものの見方は、視点が変わると違うことを押さえる。</p> <p>・絶対に相手の短所についてからかったり、ふざけたりしないことを約束させる。</p> <p>・他の人に知られたくない短所は、書かなくてもよいとする。</p> <p>・ワークシートに合わせて進める。</p> <p>・グループの人が真剣に考えてくれるから、安心して書くようにうながす。</p> <p>・仲間のために考えたり悩んだりすることは、大きな価値があることを伝える。</p> <p>・リフレーミング辞典にないものは、似ている言葉を探し、それでもない場合は知恵を絞って新しく言葉をつくらせる。</p> <p>・日常の生活の場面を例にあげて伝えられるとよいことをつけ加える。</p> <p>・発表のあとに、拍手をさせ、あたたかい雰囲気をつくる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>リフレーミング辞典</p> <p>ふりかえりシート</p> <p>【思考・判断・実践】</p> <p>・普段の様子を思い出しながら、ペアの短所を長所に書き換えている。 (観察・ワークシート)</p>
<p>活動のまとめ2分</p>	<p>○本時のまとめを聞く。</p> <p>「自分の短所にとらわれすぎではいけない。柔軟な考え方ができるようになれば、みんなの生活はもっと楽しいものになる。」</p>	<p>・見方を変えろという感覚を持てればよい。自分だけでなく相手にも応用し、合唱練習のグループ活動で実践するように促す。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・自分や相手のよい点に気付いていこうとしている。 (観察・ふりかえりシート)</p>

『自分の見方を変えよう』

リフレミング

あなたが日頃気になっている短所だと感じている自分の性格を、仲間にリフレミングしてもらいましょう。

- ①あなたの名前をAに書きます。
- ②あなたが気になる短所をBに書きます。

(ここで、相手のペアにワークシートを渡します。)

- ③仲間から『リフレミング辞典』を参考に、短所をCの長所に書きかえてもらいます。辞典にないものや難しいものは、後回しにして周りの人に助けてもらいます。

- ④リフレミングした結果を仲間に伝えてもらいます。次のようにA→B→Cの順に読んで読んでもらいます。

A さんは、B (こと) を短所だと思っています。  
しかし、見方を変えれば、それは C という長所なのです。

A

B 短所	C 長所
例 あきっぱい	好奇心がおうせい



ふりかえりシート 1

2年 組 番 氏名

『上手な聴き方』について答えましょう。

1. タノミングがよくないたり、あいづちをうつことができずか。
  - A よくきた
  - B できた
  - C あまりできなかつた
  - D できなかつた
2. 話す人が話しやすいように体を向けられましたか。
  - A よく向けられた
  - B 向けられた
  - C あまり向けられなかつた
  - D 向けられなかつた
3. 話す人の目(のあたり)を見られましたか。
  - A よく見られた
  - B 見られた
  - C あまり見られなかつた
  - D 見られなかつた
4. 途中で口をはさまずに最後まで聴けましたか。
  - A よく聴けた
  - B 聴けた
  - C あまり聴けなかつた
  - D 聴けなかつた
5. 話し手が、話しやすい雰囲気がありましたか。
  - A よくわかつた
  - B わかつた
  - C わからなかつた
  - D わからなかつた
6. 「上手な聴き方」をして、感じたり思ったりを書きましたか。

『リフレミング』について答えましょう。

6. 欠点は、見方を変えるのと長所になるという考え方について、わかりましたか。
  - A よくわかつた
  - B わかつた
  - C わからなかつた
  - D わからなかつた
7. 同じグループの人の欠点を長所に換えることは、うまくできましたか。
  - A よくできた
  - B できた
  - C あまりできなかつた
  - D できなかつた
8. あなたの欠点をリフレミングしてもらって、どのようなことを感じましたか。

# 学級活動指導案

1. 本時の指導と生徒の活動

- ① 本時の活動のテーマ  
「自己理解をしよう」
- ② 本時のねらい  
班の中で積極的に話をするすることで、お互いの個性やよさを知り合う。
- ③ 本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	資料等	目指す生徒の姿と評価
活動の開始 5分	<p>○『ひたすらジャンケン』をする。</p> <p>・生徒が教室内を歩き、出会った人とあいさつをしてからジャンケンをする。これをくり返す。</p>	<p>・あいさつをすることと、ジャンケンをすることでリラックスをさせる。勝った回数を確認して、数の多い人を称賛する。</p>		
活動の展開前半 8分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">                     本時のテーマ：『自己理解をしよう』                 </div> <p>○『ジョハリの窓』について学ぶ。</p> <p>【インストラクション】</p> <p>・アメリカの2人の心理学者が共同で作ったもので、人が円滑なコミュニケーションを進めるために考えられた分析のモデルであることを知る。</p> <p>・「明るい窓」の大きさは、自分の所属の居ごごちの良さに比例していることを知る。</p> <p>・自己開示とフィードバックで明るい窓を広げられることを知る。</p>	<p>・自分の得意なことを知ることは、将来の進路を決めることに生かせ、苦手なことを知ることは、周囲の人のトラブルを避けることができ、自分を見つめ自分に関心を持つことが大切だと気付かせる。</p> <p>・自分に関心を持つようになると、周囲の人のことにも関心を持つようになり、自分を大切に思うことと同じように周囲の人も大切に思うことにつながることを伝える。</p> <p>・自分が自己開示をした分だけ、相手も心を開くので、積極的に話をするようにうながす。</p>	掲示物	<p>【知識・理解】</p> <p>・自分から自己開示をすることと、周囲からフィードバックを受けることで、所属の居ごごちがよくなることを理解する。</p> <p style="text-align: center;">(観察)</p>
活動の前半 20分	<p>【エクササイズ】</p> <p>○『さいころトーキング』をする。</p> <p>①4人1組で、順番を決める。</p> <p>②さいころを振る。同じ目が出たときは、もう一度さいころをふる。</p> <p>③さいころの出目のテーマについて、一人一人順番に話す。</p> <p>④ ②～③を繰り返す。5分</p> <p>⑤シート1終了後に、同様にシート2をする。 5分</p>	<p>・話し方のモデルを示す。 「相手の目を見る」 「わかりやすい声の大きさ、速さ」 「理由や説明の言葉を入れる」</p> <p>・話したことについて、ばかにしたり、批判をさせない。</p> <p>・無理な自己開示をさせてはいけないことを伝える。</p> <p>・ルールが守られているか、班での活動が進んでいるか把握する。</p>	掲示物  さいころトーキングシート  さいころ	<p>【思考・判断・実践】</p> <p>・自分の考えを「話し方の例」に合わせて、積極的に班の仲間に話している。</p> <p style="text-align: center;">(観察)</p>

<p>活動の展開後半</p> <p>15分</p>	<p>【シェアリング】</p> <p>①ワークシートに記入する。</p> <p>②グループで気づいたことを交流する。【集団思考】</p> <p>③ふりかえりシートに、グループでの話し合いをもとに、よい仲間をつくるための考え方を記入する。【自己決定】</p>	<p>・さいころトーキングの活動をふりかえり、班の仲間の印象について相互評価でよい点を伝えるフィードバックをさせる。</p> <p>・自己評価と周囲からの評価の相違をみて、新しい発見があったかを確認する。</p> <p>・子どもたちの表情はどうだったか、仲間の話を聴いている姿はどうだったかを返していく。</p> <p>・班での意見交換をふまえて、よい仲間をつくるためにどんなかかわり方をするとよいか考えさせる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>【思考・判断・実践】</p> <p>・班の仲間のよいところをワークシートに記入しながら、相手の良さに気付く。(ワークシート)</p> <p>ふりかえりシート</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・仲間との関係を深めるには、自分の話を積極的にすることが有効であり、人によって様々な考え方を持っていることに気付く。</p> <p>(観察・ふりかえりシート)</p>
<p>活動のまとめ</p> <p>2分</p>	<p>○本時のまとめを聞く。</p>	<p>・他者との交流により、人からわかってもらえている部分が広がると安心感が生まれ、自分の居場所がえられることを確認する。</p> <p>・自分を知り、相手を知ることから仲間の関係が深まることを伝える。</p>	





# 学級活動指導案

平成24年11月9日（金）第6校時 2年〇組

場所 1階多目的室

指導者 矢島 敏明

## 1 題材 「互いに認め合う仲間」

内容 (2) 適応と成長及び健康安全 オ 望ましい人間関係の確立

## 2 題材について

### (1) 生徒の実態

本学級は、男子21名、女子14名、合計35名である。全体的には、教師からの話を素直に聞こうとする生徒が多いが、幼いところがあり自分に対しての規範の規準が低く生活がルーズになりがちである。男子は活発な態度を取る生徒が数名いて行事では、リーダー性を発揮する。女子はややおとなしい様子がみられ、性格の似ているもの同志でグループをつくっている。また、生徒が意見を発せしあう場面で自分や相手のよさに気づいていなかったり、掃除の場面で協力する気持ちが弱かったり、失敗をした場面ですぐに馬鹿にする態度をとってしまい相手の気持ちが思いやれないなど、互いに認め合うことができていないことが多くみられた。

侵害行為 認知群	4組	6%	学級生活 満足群	4組	55%
	全国	17%		全国	35%
学級生活 不満足群	4組	24%	非承認群	4組	15%
	全国	33%		全国	15%

表1：Q-Uいごごちのよいクラスをつくるためのアンケート

生活 意欲	友人と の関係	学習 意欲	教師と の関係	学級と の関係	進路 意識
4組	17.1%	14.6%	14.1%	15.0%	13.6%
全国	16.5%	14.0%	12.6%	14.5%	14.2%

表2：Q-Uやる気のあるクラスをつくるためのアンケート

東京校外学習での事前アンケートからは、班で協力する行動として、「意見を出し合う」、「ルールを守る」、「全員で行動する」「仲良くする」などがあげられた。中には、楽しくできればよいという考えの浅い生徒もいるので、全員の考えをより深めることが必要である。

Q-Uによると、「いごごちのよいクラスをつくるためのアンケート」では、表1のように「学校生活満足群」に55%、「学校生活不満足群」に24%の分布があり、全国平均と比べるとクラスの状態は、ややよい傾向がある。クラスで無視をされることや周りの目を気にして不安になることが少ないと回答しており被侵害感は低い。しかし、友人から認められことやクラスでの自分の存在感について低く回答しており、非承認群に課題がある。学級としてのまとまりがやや弱く、仲間として表面上の関係になっていると考えられる。また、「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート」では、担任とのかかわりが良いが、気軽に話ができる友人が少ないと感じたり、将来のことについて友人と話すことが少ないと感じたりというように回答しており、普段近くで過ごしている仲間がいるが、本当の気持ちを語り合える関係になっていないと考えられる。

### (2) 題材設定の理由

本題材は、中学校学習指導要領特別活動の学級活動の内容(2)「適応と成長及び健康安全」のオ「望ましい人間関係の確立」を受けて設定したものである。また、「はばたく群馬の指導プラン」で示された「豊かな心」を育成するための3つの心のうち、「向上する心」「大切に作る心」の育成に向けた、「自分のよさに気づき、夢や希望をもつことができる」資質・能力や「友達、学級、学校、地域などを大切にすることができる」資質・能力を育むものである。

本題材「互いに認め合う仲間」は、自己理解や他者理解を深め、自分の感情の持ち方や人とかかわ

る技法を学びながら、学級の中で存在価値を認め合う人間関係の確立を目指そうとするものである。また、自他を認め合う学習を学校行事の準備や活動場面と積極的に関連づけて行おうとするものである。相手とかかわるスキルの向上を図ったり日常生活に生かそうとする意欲を育てるためには、スキル学習を学ぶだけでなく、学級や学年の仲間とのかかわり方を実際の学校行事の場面で使うことがより有効であると考えられる。

本時のテーマである「班行動の協力の仕方を考える」は、「なぞの宝島」というグループ活動で協力することの疑似体験を行い、東京校外学習に向けて体験から得られる意識を生かそうとするものである。事前学習としては、生徒が「協力する」という意味についてイメージを持っていなかったり、あやふやであったりするため、グループで協力することはどんなことなのかを話し合う場面をもたせる必要がある。そして「なぞの宝島」のグループ活動をすることで、目的達成のために自己の表現力を生かし、他者への思いやりや連帯感を持つなどの協力するという気持ちを体験的に実感できるものである。ここで得られた仲間を大切にしようという経験は、東京校外学習の目的である「個と集団のかかわりや人間関係の望ましいあり方について真剣に考えさせる」に、直接つながるものである。

### 3 指導のねらい

学校行事との関連の中で互いに認め合う学級を目指し、仲間と協力し合う経験や仲間のよさに気づくことを通して、自己理解や他者理解を深めることで共感性を高め、東京校外学習に生かそうとする態度を育てる。

### 4 学級活動（２）「適応と成長及び健康安全」の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的、自律的に日常の生活を送ろうとしている。	日常の生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

### 5 指導の過程

#### （１）事前の指導と生徒の活動

日 時	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒像の姿と 評価方法
11月2日（金）	◇アンケート東京校外学習に向けて ・東京校外学習の目的に取りあげられている「協力すること」の意味を班で話し合っている。	・「協力すること」を生徒がどのようにとらえているか、具体的な行動や考えで表現させる。 ・実施に向けて意欲や課題解決の意識を持たせる。	【関心・意欲・態度】 ・東京校外学習の参加に関心をもち、協力することの意味について考えようとしている。 (東京校外学習ガイドブック) (班用アンケート用紙)

#### （２）本時の指導と生徒の活動

##### ① 本時の活動のテーマ

「班行動の協力の仕方を考える」

##### ② 本時のねらい

協力することの大切さについてグループ活動を基に疑似体験することを通して、仲間との

かかわりが難しいものであると感じ取らせ、グループの一員として協力することを東京校外学習に生かそうとする態度を育てる。

③本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	資料等	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始 5分	1 協力について話し合ったことを発表する。	・事前指導のグループで話し合った協力について発表させ、東京校外学習でどのようなことをすると協力につながるかを意識させる。	カード 掲示物	【知識・理解】 ・協力することの基本的な考え方を理解している。 (観察・班のアンケート用紙)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     本時のテーマ：『班行動の協力の仕方を考える』                 </div>			
活動の展開前半 3分	2 本時の活動のめあてを聞く。	・グループで考えた「協力すること」を「なぞの宝島」の活動で疑似体験し、協力することの大切さや難しさを感じとり、東京校外学習に生かす話し合いをすることを伝える。	掲示物 掲示用情報カード 掲示用白地図	
	3 『なぞの宝島』の説明を聞く。	・前回までに学習した、相手が話しやすい聴き方や相手に伝わりやすい話し方を確認する。 ・発表が苦手な人も安心して発表できるように、グループの温かい励ましが大事だと伝える。 ・班員の情報は、問題解決に大切なので、一人ひとりが重要な人物であることを班の活動を通して気づかせる。 ・制限時間に答えにたどり着かない場合は、東京校外学習の場面ではアクシデントが起きたことと同じことなので、その後の行動を冷静に取る必要があるので、文句を言い合うことがないように伝える。		
12分	4 『なぞの宝島』をする。 ①班長が<情報カード>を班員に配る。	・カードの情報を見せないルールが守られているか、机間指導をして確認する。	班用白地図 班用指示書 班用情報カード	【思考・判断・実践】 ・自分の役割を考えながら、課題解決に向けた話し合いを協力して行っている。 (観察・班用白地図)
	②班で話し合いながら、宝物の場所を探す。 ③正解を発表する。	・問題解決をするにあたり、悩んだり苦労することがこの活動で経験できるので、協力することの大切さや難しさを感じ取らせる。 ・解答のあたりはずれより、取組の様子や途中の姿に注目させる。		
	5 ふりかえり、話し合い	・班の中の行動についてふりかえ		【関心・意欲・態度】

5分	<p>をする。</p> <p>①「1. グループの中の活動を思い出して、くふりかえりシート」に記入する。」</p> <p>② 2, 3のグループから、協力できた行動や考えを発表する。</p>	<p>り、どんな協力できていたか、よい点をふりかえらせる。</p> <p>・「なぞの宝島」の活動は、意見を出し合う、意見を聞き合う、意見をまとめるなどの自分の役目を果たすことの喜びを体験させる。</p>	ワークシート	<p>・班の仲間の活動をふりかえり、お互いのよい点に気づき、伝え合おうとしている。</p> <p>(観察・ふりかえりシート)</p>
活動の展開後半	<p>③「2. 意見が分かれたり、言い合いのけんかになったらどうする」を話し合い、いくつかのグループから解決するための考えを発表する。</p> <p><b>[集団思考]</b></p>	<p>・「なぞの宝島」の活動を想起させながら、より現実的な場面を設定し、折り合いをつける段階までをねらいとすることで、話し合いを深め、東京校外学習へつなげる。</p> <p>・仲裁になる人が出てくる ・折り合う ・意見をまとめる ・冷静に話し合う ・言いたいことがあっても引く</p>		<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <p>・他の人の考えと自分の考えを比べながら、深い話し合いをしているか。</p> <p>(観察・ふりかえりシート)</p>
20分	<p>④「3. 東京校外学習の班行動でどんなことに気づけて行動するか」を考える。</p> <p><b>[自己決定]</b></p>	<p>・「どんな場面で」「どんなことを」「どのように」などの視点を持たせて具体的に決めさせる。</p> <p>私は、班行動で移動するときに、遅れそうな人が出てきたら、声をかけて班がばらばらにならないようにします。</p>		
活動のまとめ 5分	6. 本時のまとめを聞く。	<p>・今日の活動で感じたことにふれながら、東京校外学習のグループ活動で協力しようとする意識が高まったか問いかける。</p>		

(3) 事後の指導と生徒の活動

日時	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒像の姿と評価方法
11月16日(金)	<p>・班の目標に照らし合わせ、一日をふりかえり「協力できたこと」を帰りの会で発表し合う。</p>	<p>・目標を決定してから一定期間経過後にグループでの行動状況をふりかえる場を設ける。</p> <p>・グループ内で、お互いのよい点を認め合うことを通して、実践への意欲を高める。</p>	<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <p>・東京校外学習のグループの一員としての自覚をもち、相手の気持ちを考えて協力することを実践している。</p> <p>(観察・東京校外学習ガイドブック)</p>

6. 板書計画

<p style="text-align: center;"><b>班行動の協力の仕方を考える</b></p> <p style="text-align: center;">『班行動で協力するとは どんなことだろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を言う</li> <li>・話を聞く</li> <li>・責任を持つ</li> <li>・仲よくする</li> <li>・一緒に行動する</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>2. 意見が分かれたり、言い合いのけんかになったら、どうする？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲裁になる人が出てくる</li> <li>・折り合う</li> <li>・意見をまとめる</li> <li>・冷静に話し合う</li> <li>・言いたいことがあっても引く</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>3. 班行動でどんなことに気づけて行動するか考えよう。</b></p> <p style="text-align: center;">「どんな場面で」「どんなことを」「どのように」</p> <p style="text-align: center;">(例) 私は、班行動で移動するときに、遅れそうな人が出てきたら、声をかけて班がばらばらにならないようにします。</p>
--	---	---

ワークシート 3

2 年 組 番 氏 名 \_\_\_\_\_

1. 『なぞの宝島』を始めてから、終わるまでの自分のグループの様子を思い出します。今日の活動のあて（協力する）に合わせて、グループの仲間が **どうなるか** をしてきて、よかったかを書きましょう。

2. 意見が分かれたり、言い合いのけんかになったらどうする？グループで解決するための考えを話し合って提案しよう。



話し合いのメモ



班からの提案

3. あなたは、東宮校外学習の班行動でどんなことに気をつけて行動するか考えよう。「どんな場面」「どんなことを」「どのように」などを入れる。

(例) 私は、班行動で移動するときに、遅れそうな人が出てきたら、声をかけて班がばらばらにならないようにします。



私は、

いりかえりシート 3



3. あなたは、グループの中でわかりやすく情報を話せましたか。

- よく言えた 言えた 言えなかった
- A B C D

4. あなたは、グループの仲間の情報や意見を大事に聴こうとしましたか。

- よく聴けた 聴けた 聴けなかった
- A B C D

5. あなたは、相手の気持ちを考えて話し合いましたか。

- とても考えた 考えた 考えなかった
- A B C D

6. あなたは、グループの人の発言をほめたり、話しやすいように雰囲気をもりあげましたか。

- よくできた できた できなかった
- A B C D

7. あなたは並のありかを深し出すために協力しようと心がけましたか。

- とても心がけた 心がけた 心がけなかった
- A B C D

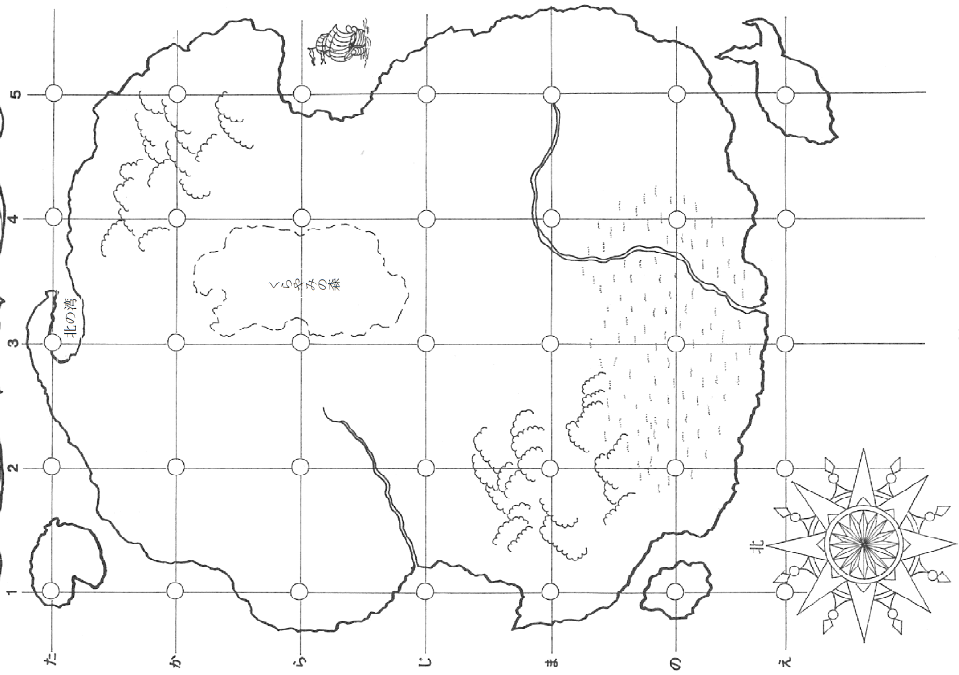
8. あなたは、仲間を励まし合いながら活動しましたか。

- よくできた できた できなかった
- A B C D

9. 今日の活動をして、グループで協力することについて、思ったことや感じたことは何ですか。

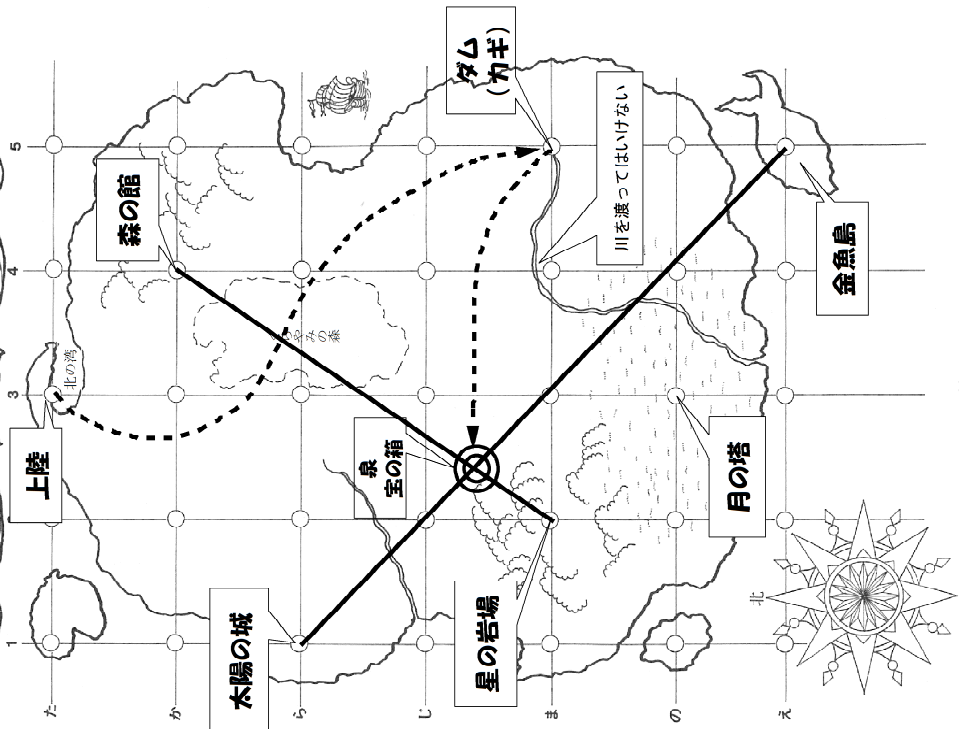


組 班 宝物を探そう!!



組 班 宝物を探そう!!

解答



# グループへの指示書

ついに、「なぞの宝島」の地図と情報が見つかったのです。  
ぜひみなさんで情報を出し合い、力をあわせて宝島の地図  
を完成させ、道順と宝物の場所を見つけよう。

【約束】 1. カードに書かれている情報は、言葉で伝えてください。  
2. 自分の<情報カード>を仲間にわたしたり、見せたりできません。

【地図の書き方】 1. 場所の名前やそこで手に入るアイテムは、鉛筆で書いてください。  
2. 宝物のある場所には、赤ペンで◎をつけてください。  
3. 宝物の場所までたどり着くための道を、赤ペンで書いてください。

【ヒント】ポイントとは、地図の○印のあるところです。

【時間】時間は、10分間です。

## 情報カード 12枚

1. 宝物の箱は、カギがなければ開かない。	2. 島のすべての川は、毒薬がふくまれていて、渡ることはできない。
3. 金魚島は、魚の形に似ている。	4. 泉は、森の館と星の岩場をむすんだ線 上にある。
5. ダムは、太陽の城から東へ4ポイント、南へ2ポイントのところにある。	6. 森の館は、北の島から東へ1ポイント、南へ1ポイントのところにある。
7. 月の塔は、星の岩場から東へ1ポイント、南へ1ポイントにある。	8. 宝島には、北の湾から上陸できる。
9. 月の塔は、ダムの西へ2ポイント、南へ1ポイントのところにある。	10. ダムには、宝物の箱を開けるカギが隠されている。
11. 太陽の城は、「ら」の1番のポイントにある。	12. 宝物がかくされている泉は、太陽の城と金魚島を結んだ線 上にある。

# 学級活動指導案

## 1. 本時の指導と生徒の活動

### ① 本時の活動のテーマ

「悩みや不安に対するヒントや姿勢を考える」

### ② 本時のねらい

多くの生徒が抱えている不安や悩みを共有し、具体的な情報や解決する考え方を聞きながら、自らふりかえる機会をもつ。

### ③ 本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	資料等	目指す生徒の姿と評価
活動の開始 3分	○『ワイド相談』について知る。	・質問は、自分が出したものでなくても、どんな考え方をしたらよいか想像しながら、アドバイスを聞かせる。		
活動の展開前半 30分	本時のテーマ：『悩みや不安に対するヒントや姿勢を考える』		ワークシート	【関心・意欲・態度】 ・仲間の不安や悩みを自分のことと捉えて、助言者のアドバイスに関心を持って聞く。 （観察）
	○質問1（学習について） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         ・最近自分としては、勉強していると思うんですが、親はそのことをわかってくれず、すぐ怒るのでとてもいやです。                          ・勉強を家でやろうとすると、やる気がでなくてできません。親には、やればできると言われますが、勉強を自主的にするにはどうしたらいいですか。                          ・私は、頑張って勉強しているつもりですが、点数をよく取れないときに、親からすごく追いつめられるようなことを言われることがあります。                     </div>	・教師の体験を含めたアドバイスができるように、助言者には事前に考えておいてもらう。 ・「～というように親に対して不満があるんだね。」と親に対する不満があることを受け止める。 ・成果は、すぐに表れないものだから、あきらめないことが大切。 ・スモールステップを自分で設定して、達成感を味わえるといい。		
	○質問2（進路について） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         ・先のことがわからない。高校のことや大学、専門学校のことも、社会に出てからどうなるかが心配。                          ・学校や学校外での生活をしていて、いろいろなことを知ると、今まで目標にしていた夢なども自分では無理なのかな、などと思ってしまう。                          ・将来のことなどについて、自分が行きたいと思っている高校に行けるかどうか、なりたい職業になれるかどうか。                     </div>	・知らないことが、不安につながるので、調べることから始めるようにすすめる。 ・今の自分は完成したものではなく、これからどんどん変化をする。目標に近づくこともできるし、離れることもある。自分がどのくらいこだわっているか、で違いが出てくることを伝える。		




	<p>○質問3（自己について）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達がやってはいけないことをしているときに注意ができなく、自分も悪口を言ったり暴力をふるってしまうことがある。</li> <li>・自分は、授業で積極性がないので、クラスの人達やまわりの人に対して発言が苦手です。しっかりとみんなの前で発言ができるようになりたいと思っている。</li> <li>・自分は、だめな人間だと思っている。親の要求が必要以上に多いため、自分はそれで苦しめられている。</li> <li>・自分は、自分の中で○○をいつやろうとか決めてたりするけど、結局後回しになってしまうことが多い。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分がやってはいけないこととわかっているが、その場の雰囲気自分の考え通りにできないことがある。」と思う気持ちは、受け止める。しかし、流されてしまうことは、改めていってほしいと伝える。</li> <li>・自分の欠点だけを気にしすぎてしまうと、自分から積極的に行動ができなくなってしまう。学んだりフレージングの考え方を活用させる。</li> </ul>	ワークシート	
活動の展開後半15分	○3人グループで、今日の活動について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの悩みを聞いて、感じたことや気づいたことをふりかえりシートに個人で書く。</li> <li>・今日の相談で、個別に相談したいことがあれば、ふりかえりシートに書かせる。</li> </ul>	ふりかえりシート	【思考・判断・実践】 ・助言者からのアドバイスを聞いて、感じたことをグループの仲間に積極的に伝えている。 (観察・ふりかえりシート)
活動のまとめ2分	○本時のまとめを聞く。	・教師のあたたかい表情で、気持ちをほぐすようにする。		



『ワイド相談』について答えましょう。

1. 友達の悩みを聞いたことが、自分の悩みの参考になりましたか。  
 とても参考になった A | 参考になった B | あまり参考に  
 ならなかった C | 参考にはな  
 かった D
2. 悩みについて、いままで気がつかなかった新しい発見がありましたか。  
 発見があった A | 発見があった B | あまり  
 発見がなかった C | 発見が  
 なかった D
3. 不安や心配な気持ち、落ち着きましたか。  
 とても落ち着いた A | 落ち着いた B | あまり  
 落ち着かなかった C | 落ち  
 着かなかった D
4. ワイド相談を実施してよかったですか。  
 とてもよかったです A | よかった B | あまりよ  
 くなかった C | よく  
 なかった D
5. 同じ学年の仲間や不安を聞いて、感じたことや気付いたことは何ですか。  
 [ ]

6. ワイド相談に参加して、自分の悩みや不安について、これからどうしようと思  
 いますか。  


7. 今日のワイド相談に関係することで、個人的に相談したいことがある人は、どの先生  
 に、どんな相談をしたいのか、書いてみましょう。

先生へ

2 年 組 番 氏 名

『悩みや不安に対する姿勢や解決のヒントを考える』

ワイド相談

本時のテーマ：みんなの悩みについて考えよう

< 学習 >

- ・最近自分としては、勉強していると思うんですが、親はそのことをわかってくれず、すぐ怒るのどてもいやです。
- ・勉強を家でやろうとすると、やる気がでなくてできません。親には、やればできると言われますが、勉強を自主的にするにはどうしたらいいですか。
- ・私は、頑張っ勉強しているつもりですが、点数をよく取れないときに、親からすぐく違いつめられるようなことを言われることがあります。



< 進路 >

- ・先ことがわからない。高校のことや大学、専門学校のこと、社会に出でからどうなるかが心配。
- ・学校や学校外での生活をしていて、いろいろなることを知ると、今まで目標にしていた夢なども自分では無理なのかな、などと思ってしまう。
- ・将来のことなどについて、自分が行きたいと思っている高校に行けるかどうか、なりたい職業になれるかどうか。



< 自己 >

- ・友達ややってはいけないことをしているときに注意ができなく、自分も悪口を言ったり暴力をふるってしまうことがある。
- ・自分は、授業で積極性がないので、クラスの友達やまわりの人に対して発言が苦手です。しっかりとみんなの前で発言ができるようになりたいと思っています。
- ・自分は、だめな人間だと思っている。親の要求が必要以上に多いため、自分はそれで苦しめられている。
- ・自分は、自分の中で〇〇をいつやろうとか決めてたりするけど、結局後回しになってしまうことが多い。

メモ

金賞を目指すために自分たちのクラスは、どんなことに努力すればよいか？どんなことを意識して練習をすればよいか？を考えて、クラスの目標と個人の目標を決めよう。

### クラスの目標



### 個人で取り組む目標を考えよう



1つだけでなく、2〜3個でもよい。

### ふりかえり

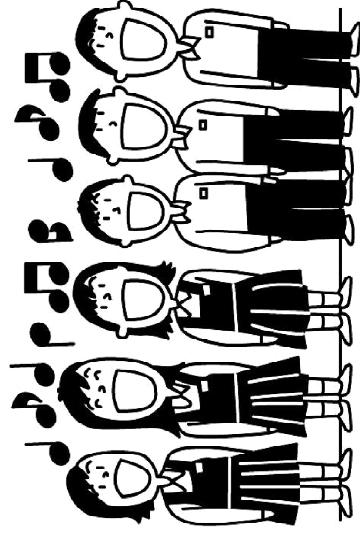
到達度の子エックをします。クラス全体や自分の達成度を10段階で表してぬってみましょう。先輩や後輩、2年生の他のクラスの合唱を聴いて感じたこと、自分たちがよくできているなあと思うこと、あなたが気づいた今の自分たちに足りないものなどを書きましょう。10段階であと一つぬるためには、どんなことをすればよいかなどを考えよう。

①中間発表後、10月 日（ ）

クラス	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	0                      5                      10	感じたことや気づいたこと、自分の思いを書こう
自分	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	0                      5                      10	

グループからのグッドポイントカードをほろう  
 例) ・声をしっかり出していたので、安心して歌えたよ。  
 ・頑張っていたので、自分も一生懸命になれたよ。 …など

# 感動する合唱コンクールにしよう



平成24年度

〇〇市立〇〇中学校

2年 組    番 氏 名

○合唱コンクールをふりかえり、A～Dに○をつけましょう。

- 1 自分の目標に対して取り組むことができましたか。  

とてもよく 取り組めた A	どちらかといえば 取り組めた B	あまり取り 組めなかった C	ぜんぜん取り 組めなかった D
---------------------	------------------------	----------------------	-----------------------
- 2 クラス全体のよいところを見つけれましたか。  

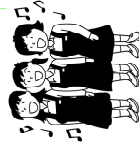
たくさん 見つけた A	すこしば 見つけた B	あまり見つけ られなかった C	ぜんぜん見つ けられなかった D
-------------------	-------------------	-----------------------	------------------------
- 3 4人グループの人のよいところを見つけれましたか。  

たくさん 見つけた A	すこしば 見つけた B	あまり見つけ られなかった C	ぜんぜん見つ けられなかった D
-------------------	-------------------	-----------------------	------------------------
- 4 クラスの人を大切にする気持ちがありましたか。  

とても大切 にできた A	どちらかといえ ば大切に できた B	あまり大切 にできなかった C	ぜんぜん大切 にできなかった D
--------------------	-----------------------------	-----------------------	------------------------

○感動する合唱コンクールにするためにどんな取り組みをしたり、意識したことは何ですか。

○合唱コンクールで学んだことや自分が成長したことは、何ですか。



②合唱コンクール前日 10月25日（木）

クラス	感じたことや気づいたこと、自分の思いを書こう
0 5 10	
自分	
0 5 10	
グループからのグッドポイントカードをばらそう	



まとめよう

③合唱コンクール終了後 10月 日（ ）

クラス	自分
0 5 10	0 5 10
グループからのグッドポイントカードをばらそう	